

アラブ首長国連邦 (UAE)

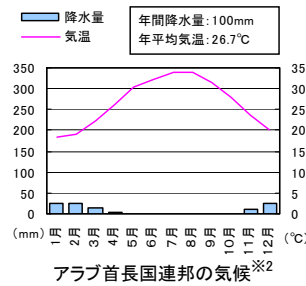
United Arab Emirates

■基本情報

国土面積：83,600km² ※1

首都：アブダビ

気候：砂漠性気候



■社会の概況

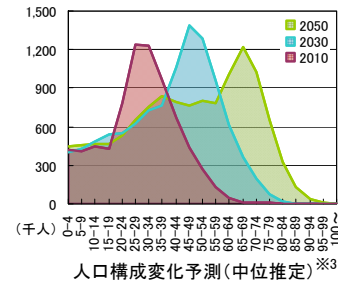
人口：789万人(2011) ※1

都市人口比率：84.3%(2011) ※1

貧困率 (1日\$1.25以下)：-(-) ※1

就学率 (中等教育)：92.3%(総就学率・2006) ※1

識字率 (15歳以上)：90%(2005) ※1



■経済の概況

豊富な石油収入を背景にアブダビなどの都市において、活発な対外投資が行われている。同時に石油モノカルチャー経済からの脱却を図っており、製造業やサービス業等産業の多様化に努めている。

GDP：166,171百万ドル(2011) ※1

1人当たりGDP：21,058ドル(2011) ※1

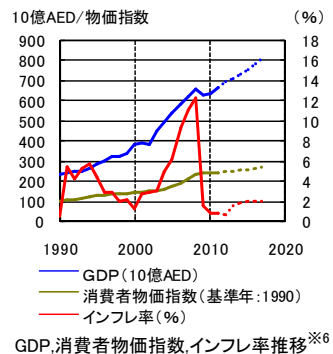
GDP成長率：4.9%(2011) ※1

所得格差(ジニ係数)：-(-) ※1

失業率：4%(2008) ※1

主要産業：石油 ※4

対日関係：日系進出企業数は約351社(2009年5月末現在) ※5



	日本との貿易額(2010年) (単位：億ドル) ※4	品目 ※4
対日輸出	291	石油、液化天然ガス、石油製品、アルミニウム
対日輸入	73	乗用車・貨物自動車、タイヤ、鉄鋼製品

■水資源の状況

UAEには、年間を通じて流れる河川は存在しない。地下水資源は主に東部の Bajada 地域ならびに西部の砂漠地域に存在しているが、砂漠地域の地下水は塩分濃度が高い。そのため、上水の供給は海水淡水化に大きく依存している。

水資源の状況 ※7

	UAE	【参考】日本
年間降水量	78mm/年 (2011)	1,668mm/年 (2011)
水資源賦存量	0.15km ³ /年 (2011)	430km ³ /年 (2011)
地表水	0.15km ³ /年 (2011)	420km ³ /年 (2011)
地下水	0.12km ³ /年 (2011)	27km ³ /年 (2011)
1人当たり水資源賦存量	19.01m ³ /人・年 (2011)	3,399m ³ /人・年 (2011)
取水量	3.998km ³ /年 (2005)	90.04km ³ /年 (2001)
農業	82.84% (2005)	63.13% (2001)
工業	1.726% (2005)	17.55% (2001)
水道	15.43% (2005)	19.32% (2001)
1人当たり水使用量	739.5m ³ /人・年 (2005)	714.3m ³ /人・年 (2001)
水資源への負荷 ※1	1,867% (2005)	20.93% (2001)
水資源の他国依存度 ※2	0% (2011)	0% (2011)

注1：淡水取水量(取水量-造水量-二次利用水)÷水資源賦存量 注2：国外から得ている水資源賦存量の割合

災害発生状況 ※8

災害の発生状況に関する情報は得られなかった。

■上下水道の状況

上下水道の普及率が高い。海水淡水化や下水再生水利用が今後も急速に増大することが予想されている。2010 から 2016 年で上下水道市場規模はおよそ倍となる見込み。

改善された水供給へのアクセス率：100%(都市：100%)(2010)^{※9}

改善された衛生施設へのアクセス率：98%(都市：98%)(2010)^{※9}

上水道普及率：93.0%^{※10}

下水道普及率：60.0%^{※10}

上水道管路延長：-km^{※10}

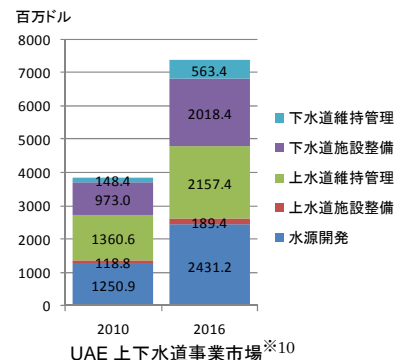
下水道管路延長：-km^{※10}

上水道民間参入率：3%(2011)^{※11}

下水道民間参入率：31%(2011)^{※11}

造水量：0.95km³/年(2005)^{※7}

上下水道に関する市場規模：38.52 億ドル(2010)^{※10}



■水関連法制度・計画

連邦政府環境・水省が国全体の水資源の管理、環境庁が水質規制等を行っている。水供給は各首長国毎の組織が担っており、アブダビにおいては水・電力庁、上水・電力会社、下水サービス社、送水・送電会社、水電力供給会社がそれぞれ政策実施、供給、下水処理、送電網維持、水販売などを分担している。ドバイでは電力・水公社、排水・灌漑局が水供給、下水処理を担う。

水に関する行政機関：連邦政府では、環境・水省（生態系の保護、水資源の持続可能な管理）、環境庁（水汚染管理・規制）等の組織がある。アブダビ首長国においては、水・電力庁（水部門の政策実施）、上水・電力会社（上水・電力を供給者から購入）、下水サービス社（下水収集、処理）、送水・送電会社（送水供給網の建設・運用・維持管理）、水電力供給会社（水・電力の供給販売）等がある。ドバイ首長国においては、電力・水公社（飲料水及び電力の供給）、排水・灌漑局（下水の取水、処理）等の組織がある。

法制度・計画：

- ・2007 年「アブダビ計画 2030」アブダビ首長国では水保全、灌漑、水の再利用（特に処理廃水の高度利用）、エネルギー及び熱効率に主眼がおかれている。

- ・ドバイ首長国では電力・水公社が供給能力拡大のための戦略を打ち出しており、新規の淡水化施設の建設計画が進んでいる。また下水道の管理効率の向上計画もたてられている。

水分野の ODA：UAE は ODA 対象外の国である。^{※12}

■水ビジネスに関する制度

UAE では PPP の法制度は未整備だが、アブダビでは水・発電プロジェクトやミネラルウォーター市場などで PPP が実施されている。またドバイ首長国でも発電・海水淡水化 PPP が進行中である。

水ビジネス PPP 関連制度：

UAE では PPP に関する法制度は現時点では制定されていない。

アブダビ首長国では独立水・発電プロジェクトやミネラルウォーター市場などで PPP が実施されている。海水淡水化施設の O&M を長期管理契約のもと民間企業へ移行するために、2000 年に政策を変更し、2007 年までに海水淡水化施設のうちの 96% が民間セクターに移行された。

ドバイ首長国は、現在までは PPP にはあまり積極的でなかったが、水供給の減少に伴い PPP への需要が高まり、現在、国内で初めての民間資金による IWPP（Hassyan I 発電・海水淡水化プロジェクト）が進行中である。

二国間協定等：

2009 年 12 月：日アラブ経済フォーラム閣僚会合（アラブ側は、水環境改善のための日本の継続的な努力、特に統合水資源管理促進(IWRM)、淡水化、下水処理のための支援協力を評価）

出典

※1) 世界銀行 World Development Index

※2) Weather base

※3) 国連 World Population Prospects, the 2010 Revision

※4) 外務省 国・地域別情報

※5) Jetro 国地域別情報 概況

※6) IMF World Economic Outlook Database

※7) FAO AQUASTAT

※8) EM-DAT: The OFDA/CRED International Disaster Database

※9) UNICEF & WHO Progress on Drinking Water and Sanitation 2012 Update

※10) Global Water Intelligence, Global Water Market 2011

※11) Pinsent Masons Water Yearbook 2011-2012

※12) OECD Stat